

あとがき

このたび茂原市立美術館・郷土資料館に、同市箕輪の神明家から、貴重な古文書類が寄贈され、千葉県文書館古文書調査員の加藤時男氏により、調査解読作業が進められました。

その中に、東金地域にかかわる約三千点に及ぶ古文書類が見つかりました。江戸前期の寛文年間から明治期までの、特に旧東金町・田間村・二又村の史料が際立っているようです。これらの古文書類は、東金市新宿（内玉）の内田家にあつたもので、明治末に茂原の神明家に嫁した内田（神明）道子が持参したものでした。

内田家は江戸時代には、福島（板倉）藩の御用達として重用され、分領（旧東金町・田間村・二又村）の差配に任ぜられた名家でした。

道子の父親 内田家治之助は、第二代東金町長や郡会議員を歴任し、内田女学校を創設するなど、多方面にわたって活躍しております。

昨年刊行した『東金市求名 並木家文書調査報告書』に引き続き、今回新たに発見された「内田家文書」は、今後の東金市史研究のために、得がたい史料として活用させていただければ、望外の喜びと存じます。

加藤氏と関係各位のご好意に感謝し、今後もし協力をお願いする次第です。

平成二十八年二月

東金市文化財審議会 会長 近藤 正

東金市新宿 内田家文書調査報告

— 代表的史料の紹介と文書目録 —

平成二十八年二月発行

編集・発行 東金市教育委員会

〒二八三―八五一― 千葉県東金市東岩崎一番地一

電話〇四七五―五〇―一八七

印刷 東金印刷株式会社

〒二八三―〇八〇二 千葉県東金市東金四〇五

電話〇四七五―五二―二八五九